

## 2泊3日の修学旅行の実践

多様な体験活動を取り入れた修学旅行の一試み

(研究者) 仙台市立黒松小学校 6学年

(発表者) 後藤 芳浩

### はじめに

本校では、総合的な学習の一環として修学旅行を位置付けている。今年の総合的な学習の時間は、情報と環境学習を中心に計画している。それまで教室で学習してきたこと(自然環境, 歴史, 産業, エネルギー問題)をその土地で働き暮らしている人々との触れ合いを通して確かめる。そして, それぞれに学んだことを基に, 改めて整理総合して生きた知識として身につけ, さらに新たな課題追究につなげようとするものである。

仙台市内のほとんどの小学校の修学旅行は, 1泊2日で行われている。確かに, 市教委の実施規準では小学校の場合は1泊2日以内, 旅行経費は20,300円となっている。しかし, 本校では, 3年前の計画立案の段階で市教委と協議して承認を受け, 昨年度から2泊3日の修学旅行を実施してきた。

2泊3日で行う目的は, 活動範囲を広げ, 学習内容を深めるためである。それまでは, 会津・猪苗代方面の歴史や産業の学習が主であったが, 2日間とも移動に約三時間かかるため, 活動が制限されることがあった。2泊3日であれば, 2日目は移動がなく, まる一日をフルに使え, 何をすることもゆとりを持って取り組むことができるからである。実際に, 多様な体験活動を取り入れることが可能になり, 学習の充実を図ることができるようになった。

### 実践の取り組み

#### 1 平成14年度の実践

最初の2泊3日の修学旅行は, いわき・会津方面に決定した。総合的な学習と関連づけてエネルギー資源をテーマに, 福島県内の火力・水力・原子力の発電所等を見学しようとするものである。また, ゲストティーチャーを招き, 発電の仕組みや長距離送電の歴史等について説明を受けた。さらに, 会津地方の歴史や産業を取り上げ, 班別自主研修や選択体験

表1 活動の概要(いわき・会津方面)

月日	行程
10/23	学校 東京電力エネルギー館 広野火力発電所 アクアマリン福島 宿舎(裏磐梯)
10/24	宿舎 水力発電所 会津若松市内自主研修 宿舎(ゲストティーチャー: エネルギーの話)
10/25	宿舎 野口記念館 選択体験活動(日新館, そば打ち-遊覧船, 遊覧船 りんご狩り) 学校

活動を通して, 体験を広げ学習の充実を図ることができた。

福島県は, 毎年たくさんの小学生を受け入れている実績があり, 活動プログラムも多岐にわたって紹介されている点がよさでもあると思われる。



#### 水力発電所の見学

##### 2 平成15年度の実践

昨年までのいわき・会津方面から, 今年は山形方面に変更した。変更の理由は, 総合的な学習(環境)で, 自然エネルギー(風力発電)に視点を当てていること。また, 現状に満足することなく, 会津以外にもさらに適当な地域があるのではないかと, 開拓してみようとしたことなどである。旅行先として山形を選択したのは初めての経験で, 会津とはまた違ったよさを実感することができた。

表2 活動の概要（山形方面）

月日	行程
6 / 4	学校 ウィンドーム立川 蔵王オリエン テーリング 宿舎（蔵王温泉） （キャンプファイヤー）
6 / 5	宿舎 酪農体験（蔵王マウンテンファーム） 山形市内自主研修 宿舎
6 / 6	宿舎 リナワールド（選択体験活動：そば 打ち，こんにゃく作り，ガラス細工等） 観光物産館 学校

ウィンドーム立川では，風力発電の仕組みについての詳しい説明と施設見学で，自然に優しいクリーンなエネルギーの必要性を理解することができた。

酪農体験では，動物たちとの触れ合いや乳搾りの体験などを通して農場の仕事の様子を知ることができた。そして，普段の生活では経験できない生き物の温かさを肌で感じ，生命の尊さを学ぶことができた。



乳搾りの体験

学習のまとめとして，ガイドブックの作成とアンケート調査を行った。

（1）ガイドブックの作成

修学旅行で訪問した場所について，役立つ情報を的確にまとめることができた。読み手（来年の6年生）を意識し，使う立場に立って構成や表現を工夫する子供が多かった。

（2）アンケートの実施

修学旅行を体験した子供たちに，ねらいや旅行先，活動内容等について，アンケート調査を行った。宿泊日数や旅行先については，9割以上の子供が好意的に受け止めている結果が得られた。

まとめ

2年間の福島，山形の二方面の修学旅行を比較して，次のような長所・短所が挙げられた。

1 いわき・会津方面

- （1）会津の歴史や文化等を紹介する施設が充実しており，多様な体験活動のプログラムを組むことができた。
- （2）小学生の受け入れ態勢が整っている。
- （3）エネルギー施設を取り上げた場合，見学先との関係で移動時間が長くなり過ぎる。
- （4）会津地方以外では，3日間のプログラムを組むことが難しい。
- （5）10月下旬のため，日照時間が短く活動が制限された。

2 山形方面

- （1）山形県の歴史，文化，自然など変化に富んだ活動内容を選択することができた。
- （2）ほとんどの活動場所が宿泊地から30分以内にあるため，移動時間が短縮され，活動時間を十分に確保することができた。
- （3）6月上旬は，時期的にも日照時間が長いことから，余裕を持った活動計画を立てることができた。
- （4）ウィンドーム立川は，他の見学場所よりかなり遠く離れているため，行程の組み方に工夫が必要である。
- （5）企画の段階から，子供たちの思いや願いを十分に取り入れるなどの手立ての工夫が必要である。
- （6）修学旅行で訪れる小学生が少ないため，受け入れ態勢が整備されていない。

2年間の実践を基に総合的に判断して，16年度の旅行先を山形方面に決定した。教師にとっても未経験の修学旅行先を模索することは，新たな活動を創出する喜びが大きい。一層充実した修学旅行にするために，今後も見学先や活動内容の検討を図り，よりよいものを築き上げていきたいと思う。

